

- 管内での**新規就農者は毎年5～8名**で、アグリスタート研修や農業大学校の研修などを経て就農している。
- 倉吉普及所では**5年以内の農業者を重点**に、栽培技術や経営管理技術の習得を支援している。
- また、**基本技術の習得**だけでなく、**新規就農者間のつながりを構築する目的**で、平成30年からは**普及所が主催する集合研修も新たな支援策として活動**を行っている。

具体的な成果

- 平成元年度は**例年より多い13名が就農**した(独立就農者6名、親元就農者7名)。
- また、9名が新たに研修の受講を開始し、5名が次年度に就農認定を予定している。
- 平成30年度の普及所主催の集合研修は4回開催し、参加人数は31名であった。
- 令和元年度は**8回開催し、参加人数は合計125名**であった。
- 集合研修では、**アンケート**により新規就農者のニーズや理解度などが把握でき、今後の支援方法について参考になった。
- 令和元年度に行った集合研修のうち2回は**女性対象の講座と共同開催**とし、その結果、**参加者間の交流範囲が広がった**。

平成元年度 集合研修と参加者		
開催日	研修内容	参加人数
10月29日	ロープワーク研修	9人
11月15日	農業セミナー	20人
11月22日	農業簿記研修会1回目	26人
11月29日	農業簿記研修会2回目	29人
12月10日	農業簿記研修会3回目	23人
1月14日	農業機械研修	9人
1月23日	パソコン簿記入力講習会	4人
1月21・23日	パソコン簿記記帳会	5人



ロープワーク研修



農業機械研修

- 目標の所得としている所得額評価では、**所得目標を概ね達成している農業者の割合が年々高くなっている**。

営農計画の所得目標に対する達成度合い				
評価	評価基準	H29 人数	H30 人数	R1 人数
A	達成	5	8	7
B	概ね達成(80%以上)	2	0	5
C	未達成(50%～80%)	1	3	1
D	未達成(50%未満)	10	3	4
合計人数		18	14	17
AおよびBの割合(%)		38.9	57.1	70.6

普及員の活動内容

- 1 就農前支援**
 - 就農相談者には、就農に向けての情報提供、農業研修の紹介、研修実施に向けて関係機関との調整を行った。
 - 就農に向けて、営農計画の作成支援や、農地や施設の確保などについて、関係機関と連携を取り、**農業経営がスムーズに開始できるよう支援した**。
- 2 就農後支援**
 - 新規就農者に対しては、特技普及員が主体となり、**栽培や経営に関する基本技術の習得を個別に支援した**。
 - 総合支援班が主体となり、**新規就農者を対象とした集合研修を開催**した。
 - 集合研修の内容については、要望をアンケートで聞き取り、**要望の高かった項目をテーマ**として研修を行った。



農業簿記研修

新規就農者が学びたい事項(農業セミナー出席者20名によるアンケート結果から。複数回答あり)

	機械 保守	機械 操作	簿記	排水 対策	土壌	鳥獣 被害	健康	労働 改善	スマート 農業	認証 制度	資金 融資	補助 事業
人数 (人)	4	6	9	3	9	5	1	4	4	5	6	4

今後の普及活動に向けて

- 新規就農者は段階を経ながら、地域の担い手としてステップアップしていく必要がある。
- 普及所は新規就農者に対して、基本技術の習得だけでなく、地域と密接につながりが持てるように支援していくことが重要である。